



●主な記事

02 ほくたち、わたしたちの熱い夏。

04 町政懇談会 Q&A

19 有線テレビ番組ガイド

●今月の表紙

よさの大江山登山マラソン大会 (9月19日撮影)

2010
10

EVENT INFORMATION

秋のイベント盛りだくさん！

大内峠紅葉まつり

10/17 (日) 9:30～15:00

日本三景天龍寺を横一文字に眺めることがで
きる絶景地「大内峠一宇観公園」を会場に開
催される恒例のイベント。各種バザーやカラ
オケ大会、ボケ封じ祈禱などが催され、イベ
ントを盛り上げます。

YOSANOオータムフェスティバル

11/14 (日) 10:00～15:00

岩滝体育館周辺とクアハウス岩滝を会場に開
催される与謝野町の産業祭。地元農産物や特
産品販売コーナー、町内企業PRブース、各
種バザー、フリーマーケットなど多数出店し
ます。

加悦SL広場周年祭

11/6 (土)・7 (日) 10:00～16:00

鉄道模型・グッズ等のミニバザーや、往年の
ディーゼル機関車が加悦SL広場構内線路を
往復する再現運転など、家族で楽しめる催し
が予定されています。

ちりめん街道まるとミュージアム

10/24 (日) 10:00～15:30

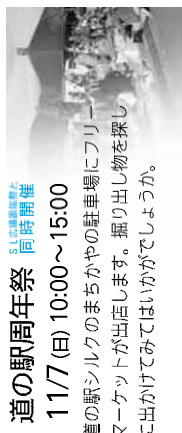
国の重要伝統的建造物群保存地区「ちりめん
街道」一帯をミュージアム (博物館) に見立
て、かつてのにぎわいを再現。着物パレード、
街道市など楽しい催しに加え、岩滝太名行列
保存会の協力により来年の本番を前に「岩滝
大名行列」も披露される予定です。ぜひ着物
でお出かけください。



道の駅周年祭

11/7 (日) 10:00～15:00

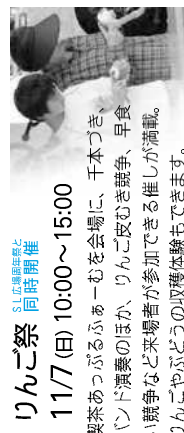
道の駅シルクのましかの駐車場にフリー
マーケットが出店します。掘り出し物を探し
に出かけてみてはいかがでしょうか。



りんご祭

11/7 (日) 10:00～15:00

喫茶あつぷるふるあーむを会場に、千本づき、
バンド演奏のほか、りんごむき競争、早食
い競争など菜場者が参加できる催しが満載。
りんごやぶがどのような収穫体験もできます。



今年も「堺市」で開催します！！

与謝野自慢

10/16 (土)・17 (日)

与謝野町、与謝野町観光協会、タンゴフロンティア株
式会社の共催で、10月16日と17日の2日間、観光PR
特産品販売イベント「与謝野自慢」を開催します。

「与謝野自慢」は、町の観光PRと町内農産品の販路
開拓を目的に毎年行っており、今回は昨年に引き続き、
与謝野晶子の生誕地である堺市の山之口商店街で開催し
ます。親戚、友人にぜひお声がけください。



CLOSE UP ぱくたち、熱い夏。わたしたちの

オ リンピック選手、全日本クラスの選手を輩出し、ウエイトリフティングの名門校として全国に名を馳せる加悦谷高校。今年も男女合わせて10人の選手が全国大会に出場しました。

昨年の全国大会で学校対抗優勝を果たした女子は、「連覇」を合言葉に臨みました。「3年生とエースの不振で競り負けしてしまった」(川畑 勉 顧問)と結果は惜しくも準優勝。個人で4位に入った梅本さん(江陽中出身)は、「高校生活最後の大会で団体優勝をめざしてがんばったが、自分の力を出し切れなかった」と悔しさをにじませていました。しかし、今年経験した選手が来年も残ることから十分優勝が狙える力があるといい、次期女子キャプテンの西尾さんは「全国で1分より強い選手を見たので、さらに上を目指し心技体に挑戦をかけ、全国優勝を目指してがんばっています」と来年への意気込みを話してくれました。

一方、過去最小の4人の出場となった男子。競技ををはじめてから6月での全国出場を果たした岡田君(加悦山山岳)は、「結果は自己ベストが出たものの、入賞には遠かった。これで競技は引退するが、5ヵ月間で培ったものを今後に活かしたい」と話していました。次期キャプテンの倉野君は、「個人で8位入賞ができたが、次の大会からは自分の成績も上げて、団体入賞を狙いたいというチームにしたい。個人としては上位の選手より集り力を強化したい」と名門復活への意気込みを語り、川畑顧問は「一からやり直し、来年に向けて全国で戦えるチーム作りをしていく」と機士重きを誓っていました。

第34回全国高等学校総合文化祭
書道部門(8/1～5・宮崎県総合体育館)

井上 みさき さん(加悦谷高校2年)

「筆使いと感性はこれまでの生徒の中でも群を抜いている」(山形正人顧問)と評されるほどの腕前を持つ井上さん。

初の全国大会出席作は、半年間同じ文字を書き続け、「にじみとくすねの習合に気を使った」というもの。書しくも賞からはもれましたが、「会場では校生徒の作品を見ると、来年こそは入賞したいと思う気持ちが入った」と井上さん。「第15回全日本高校大学書道展賞受賞」では、全国の高校生と大学生12,000名の中から見事書道展賞を受賞。さらなる活躍が期待されます。



全国準優勝!!



加悦谷高校

第12回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会(7/23～25・神奈川県立体育センター)

井上 夏海 さん(1年・48kg) 堀内 瞳 さん(3年・58kg)
糸井 奈々子 さん(2年・63kg) 沼田 真保 さん(2年・69kg)
西尾 里菜子 さん(2年・68kg) 梅本 紋香 さん(3年・75kg)

美ら島沖縄総体 2010 平成 22 年度全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング(8/9～11・沖縄県八重瀬町真志頭社会体育館)

井上 航 君(3年・62kg) 岡田 持夢 君(3年・69kg)
倉野 基博 君(2年・77kg) 井戸本 海人 君(2年・94kg)

第45回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会
男子800m 出場(8/13～15、国立競技場)

吉井 彰裕 君(宮津高校伊根分校1年)

高校入学後、短距離から中距離へと転向した吉井君。府大会で8位に入り、標準記録を突破して初の全国大会出場を決めました。会場の国立競技場に足を踏み入れると、「かつて東京オリンピックが行われたところ。わくわくした」と初の全国大会にも臨むことなく磨めたといいます。

予選10組中8組目に登場した吉井君は、「自己ベストの2分17秒77をマークしたものの、予選敗退となりました。『悔しい』という走りでしたが、自分の力が足りないことも分かった。全国で入賞できるようにトレーニングしていきたい」と力強く話してくれました。



この夏の猛暑以上に、近畿や全国の舞台で熱い戦いを繰り広げた中高生たち。今月号では、中学生と加悦谷高校生、町内在住高校生の活躍を一挙大公開します！

第45回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会
女子走幅跳(8/13～15、国立競技場)

梅原 麻友子 さん(網野高校間人分校4年)

二河内小学校6年時には100mで全一、四人会出場、江陽中学校1年時には全一、四人会優勝と輝かしい実績を博し、競技を続行。5回目で首位を逆転し、最終6回目は自己ベストに7cmと迫る4m69cmを跳び、見事優勝を果たしました。昨年は全国大会で準優勝を果たしました。「優勝を目標に1年間練習を重ねた」と「両親や友人、先生の応援が励みになった。今思えば、よくあの時は跳べたと思う」と周囲への感謝を口にし、勉大への入賞への感謝に喜びの表情を見せていました。会での優勝に喜びの表情を見せていました。



全国3位!!

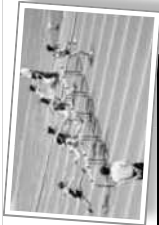
第37回全日本中学校陸上競技選手権大会
女子100mハードル

(8/20～23、コカ・コーラウエスタススポーツパーク陸上競技場)
中村 有希 さん(橘立中学校3年)

決勝で涙をのんだ昨年の大会から一歩前進。全国大会での決勝進出を目標に、父との「人」で競ったトレーニングに打ち込んだ中村さん。

府大会を自己ベストの14秒92で制し、8年間の奮闘として臨んだ全国大会。予選、準決勝を順調に突破、迎えた決勝は大人たちのおかげ。思返しができるような少壮のレースが展開されました。好スタートを切った中村さんは、最終ハードルを越

えてから数人がゴールしなれど、胸の差の8位でゴール。「これまでに最高の走りだった」と心の中のレースを笑顔で振り返りました。ジュニアオリンピックの出場も決まっています。結果を残せたのは1分を交えてくれた人たちのおかげ。思返しができるような少壮のレースが目指したい。感謝の気持ちを胸にこれからも走り続けます。



第59回近畿中学校総体 陸上競技の部
男子2年 100m(8/8～9、紀三井寺公園陸上競技場)

池本 祐飛 君(江陽中学校2年)

大会を制し、初めて挑んだ近畿大会。「楽しくリラックして走れることを目標にしていた。満足できる走りがあった」と、11秒47の自己新で4位入賞を果たしました。

中学校の部活動は野球部に所属し、学校が終わってから陸上の練習を行っているという池本君。2年生になってから11秒をマークし、走るたびに記録を更新。約半年で0.5秒詰め、「走っていて楽しい」と笑顔で話します。10月24日から行われるジュニアオリンピックの出場も決まっています。「決勝進出が目標」と初の全国大会に意気込みは十分。さらなる活躍が期待されます。



「60のまもへい」にも答えます 町政懇談会Q&A

6月9日から7月30日まで
の期間、町内24地区を対象
に5回目となる町政懇談会
を開催しました。「平成22年
度予算」と「取り組むべき
重点課題」をご説明し、延

べ746人の皆さんから、
484件ものご質問やご意
見をお寄せいただきました。
今月号では、その中から主
な質疑応答を、総合計画の
まちづくりの6つの基本目
標に沿って紹介します。



※議事録の都合上、質問の順序と一致しない場合があります。
※回答は、「町政懇談会」時のものです。

安心と生きがいのある 福祉のまちづくり

加悦地域で子育て支援
センターを開設するそ
うだが、どういったものなのか。
主に保育園に行ってい
ない子どもたちの保育
相談をします。加悦地域にはな
いため、互酬の児童保育施設を
利用して子育て支援センターを
設置する予定です。

特別養護老人ホームの
建設予定はあるのか。
加悦加工場跡地に建設
が計画されており、町
内の190人もの入所待機者の
解消を目指しています。計画
では、特別養護老人ホームと
ショートステイ、デイサービス、
高齢者専用住宅、給食施設、看
護ステーションを備えた複合施
設で平成24年春の完成を目指し
ています。お知らせできる段階
になれば説明会を開催します。

音声告知放送の端末が
新しくなるが、聴覚障
害者にも緊急放送が流れている
ことが分かるようになってい
るのか。

新しく設置するFM告
知放送端末は、緊急放
送の際、強制的に告知放送が流
れ、端末のランプが点灯します。
これにより、緊急放送が流れて
いることを認識することができ
ますので、内容は有線テレビで
確認できます。

ジェネリックカードが
配布された。町はジェ
ネリック医薬品の内容を知ら
ずで動いているのか。国民健康
保険の財政的負担が大きいので、
町民に使うてもらうことにより、
経費を抑えたいのか。

与謝野町国民健康保険
の加入者に、ジェネ
リックカードを世帯あたり1枚
から2枚配布しています。町の
国民健康保険も医療費が上がっ
ていく状況で、町の方針でもあ
るジェネリック医薬品を推進し
ています。ジェネリック医薬品
は新薬から一定特許が過ぎた薬
で、信頼性も効能も保衛された
医薬品となっています。ジェネ
リックカードは、医師に「ジェ
ネリック医薬品に換えられま
すか」という相談を、口頭で言
いにくい場合にカードを提示す
ることで相談できるというもの
で、強制ではありません。ジェ

ネリック医薬品が適用できれば
少しでも自己負担が少なくなり、
国民健康保険も医療費を下げる
ことができるので協力をお願い
しています。

与謝野町社会福祉協
会内のボランティア連
絡協議会の予算が削られ、また
本部を近隣から加悦へ移転する
話が出ているが。

社会福祉協議会への補
助金の一部にボラン
ティアコーディネーター職員分
の助成をしています。予算は
は削減していません。また、本
所は6月1日に野田川地域に移
転されました。

伝統を活かし未来に チャレンジする 産業づくり

自然循環農業をどのよ
うに推進するのか。農
家がもっと安心して農業に取り
組めるように農業推進をお願い
したい。

大江山で降った雨が野
田川に流れ、農地や田
畑を潤してそれが阿蘇海へ注ぎ
込んで雨になって循環していま

す。阿蘇海の浄化の取り組みも
農家と一体になって進めています。
H加悦町から推進している
「京の立つこ米」は野田川、岩
滝地域でも広がり、作付面積
も60ヘクタールから120ヘク
タールに拡大しました。今後は、
町も提唱している農業の6次産
業化を本町も目指していきたい
と考えており、生産から販売ま
でしっかりとした産地となるよ
う進めていきたいと考えていま
す。

農業を使うことに消費
者が非常に敏感になっ
ている。農業をなくしていく
きだと思っているが。

農家の形態がさまざま
で、今すぐにすべてや
めるということは難しいですが、
今後農業は少なくする方向で検
討しています。

リフシカやの里の再開
について、どのような
状況になっているか。

来年10月の「国民文化
祭」までに、農村レス
トラン、ホテル、お風呂に加え
て農産加工施設を含めた内容で、
「社会福祉法人よさのうみ福祉
会」を指定管理者に指定し、再
開したいと考えています。

イノシシやシカの対策
のため、山間地では多
くの柵が設置できてかなりの効
果がある。今後も金網での柵を
お願いしたい。

柵の設置では、地域の
方にお世話になり大き
な効果が出ていると述べています。
今後も木造柵の場所や金網への
更新など、ご相談ください。

クマの出没が相次いで
いるなどという状況が。
害獣ネットは補助事業で毎年取
り組むことはできないか。





今年の目標情報は、4月
月から50件以上に上っており大変多い状況です。堰を
設置して現在で7頭捕獲してい
ます。朝夕は外出を増え、鈴を
携帯するなど自己防衛も願ひ
します。獣害ネットは、京都
府では50%の補助があり、町も
10%から20%補助をしています
ので活用してください。

農業者の戸別所得補償
制度の動向についてに
ついては教えてほしい。転
作を100%しなければなら
ないことだが。

戸別所得補償制度は、
今年度から1000平
方メートル以上の米作付は農家

に基礎の交付金を交付するもの
です。約1000件に申請案内
をし、これまでに約半分(400
件から500件)の申し込みが
あります。これは生産調整の達
成が条件となりますが、生産調
整に参加しないということであ
れば申し込みしないという選択
肢もあります。

林道整備事業では予想
以上の整備がされてき
ている。これから林道整備
をお願いしたい。

林道整備はある程度進
んでいると考えていま
すが、広大な山林面積に比べれ
ばまだ不十分です。京都府も林
道単独での整備ではなく、治山
事業と一体となつた林道整備を
行っていますので、これらを活
用して推進します。

下水道整備が遅れてい
る地区では、下水道工
事をしたくても住宅改修補助が
切れて期間内実施が難しくなり、
公平性にも欠ける。特に下水道工
事未実施地区では補助期間の延
展が必要と聞く。下水道未開地
区だけでも整備する願いしたい。

住宅新築改修制度は、
町民の皆さんの住環境
の向上と町内の商工業の活性化

を図る目的につくられた限定的
なものです。すでに下水道整備
が完了した区域では、この制度
がなかったため補助を受けるこ
とができなかったとの不公平を
感じられる方もあるかもしれま
せん。しかし、町内の商工業の
活性化を図ることが目的です
ので、一定期間とする方がより効
果があることをご理解いただき
たいと思います。

機物の需要がない中で、
機物を支援していく必
要があるのか疑問に感じる。

町内から機音が減つて
きていますが、ちりめ
んを作っているのは全国でも丹
後だけです。基幹産業から伝統
産業となりつつあるものの、誇
りを持ってがんばっておられる
ので、引き続き支援をしていき
たいと思います。

宿泊施設が多すぎる。
赤字部門の経営はやめ
るべき。

旧町それぞれが取り組
んだきた町内の公共の
宿泊施設を充実した結果であり、
全世にともなう施設が多くなつたこ
とは事実です。青少年健全育成
のための宿泊施設として、また
観光客を主に受け入れる施設と

してなど、それぞれ建設の目的
は異なっています。今後も各施
設の経営の安定、活性化を図り、
指定管理者と連携を密にし廃止
を検討することのないよう、初
期の目的達成のため取り組みだ
いと考えています。

大学等へ進学した子ど
もがリターンしてくる
職場がない。企業誘致している
のが、若者が定着できるように
ちと町が動いてほしい。

雇用の確保、拡大も、
現実には難しくなかなか
良策を打つ手がないのが現状で
す。若い人たちが望む仕事は、
いくら企業誘致をしても都合に
は負けてしまいます。まずは町
内にある企業が働き続けてもら
えるよう支援を行いたいと思え
ています。京の巨つこ米も加賀
地域から岩瀬地域にまで広がり、
農業分野に力強い新卒出てきて
いますし、機物業も機能的とい
うものの、機物の技術は世界
でもここしかないかもしれません。
この技術を守っていくことが大事
です。そして、平井にて新しい
産業も見つけたいことも大事
です。また、製造業だけでなく、
福祉分野に対しても支援するこ
とが大切と考えています。

自然と安全を守る まちの基礎づくり

命時後は旧町時代と出
るあまりにも住民
サービズが低下している。溝溝
除では、母娘からの紙切れ一枚
で各戸に働き手にしてのこと
だった。泥を上げるのに公が面
倒をひかなくて済むのが。

溝溝除の統一基準を確
立した結果、タンブく
の溝み込みまでは住民の方に
やっていただき、タンブ代だけ
は町で負担する案を、岩瀬の区
長会にも提案、了解を得ていま
す。あくまで溝溝除は自分の身
の回りの環境整備を自らするこ
う考え方で、町がやるべきもの
がメンテナンスする部分を
整理しています。

草刈がなくなり田が大量に
跡になる。所管署と組
み合っているが個人同士ではつま
くまもらない。良いアドバイス
はないか。

以前から相談を受けて
おり、区の協力を得て
木の枝を切ってもらいました。
引き続き協力し合いながら解決
を目指します。



こみ処理場を新しく作
るのか。

宮津市の処理場の使用
期限は平成26年、京丹
後市の使用期限は29年です。昨
年、2市2町でこみ処理施設研
究会を立ち上げ、年内には一定
の報告が出た後、具体的な話が
出ると聞きます。

こみ最終処分場の選定
数と今後の見通しにつ
いてどのように考えているか。

加賀最終処分場は、す
でに計画期間を超過し
ていますが、2万1000立方
メートルほど余力があるため、
平成29年くらいまで使用でき
ると予測しています。岩瀬最終処
分場は平成28年くらいまで使用
できる予測です。野田川最終
処分場は平成30年までの計画で、
地区との使用協定があるので使
用期限は平成30年までとなりま
す。今後の見通しとしては、可
燃ごみ施設やリサイクル施設の
整備をすることで、埋め立てご
みを減らしていけるのではない
かと考えており、旧町ごとにこみ
最終処分場が必要かどうか等も
議論する予定です。

こみ問題は個々の気持ち
が大切。声をかけ合
いながらみんなで楽しくしたい。
貴重なご意見をありが
とうございました。

河川改修の機体工事では、
アロウで全面を
固めるのではなく、自然・環境
にやさしい工法をする考えはな
いのか。子どもたちも河川で遊
んだり、自然に親しめるように
考えてもらいたい。

国の基準も変わり、自
然にやさしい工法に変
えていく方向になっています。

河川改修について、昨
年橋の架け替え工事の
現場を見たが、川幅の半分程度
が土で埋まるなど、水の循環を
妨げているような工法のように
思われた。今後は工法を再
考してほしい。

昨年の工事では数棟が
遅れていたことは認識
しています。水が流れるところが
なく工事をするのが困難な川
もありますので、ご意見を京都
府に伝えます。

川の中に砂の山がた
まっている。浸襲だけでも
やっつけてほしいが。

浸襲をするだけでも運
水能力が上がります。
府民公衆利便事業で整理して
ください。

農閑期の火災に対する消
防団員の行動をどのよ
うに把握しているか。

消防団員のサウリーマ
ン化に伴い、年々、平
日の日中に出勤できる消防団員
数も減ってきており、地域によ
っては出勤人員の確保ができ
ない分団もあります。宮津市で
は消防団のOBが消防支援隊を
つくっているという事例があり、
本町でもこの状況を受けて、消
防委員会、消防団と消防団OB





を中心とした消防支援隊をつくっていく方向で検討されています。

消防で周回りをしていると消火栓がないところがあるが、消火栓は増やす方向で考えているのか。

各地区から設置の要望を聞いています。今後、も要望を出してもらえば検討します。

快適でやさすらのある生活環境づくり

岩瀬地域は都市計画区域となっており建築確認申請が必要だが、ほかの地域は確認申請が必要ない。申請には8万円から9万円の経費が必要となる。同じ町なのに不公平だ。

庁舎内でフーキングルームをつくって検討し、府とも協議しているものの、現在国レベルで大幅な変更を予定されており、段階的な対応です。今後何らかの形で住民の皆さんに情報を発信していきたいと考えています。

プラスチック加工場の粉塵と臭いについている。会社にも被害を出さないよう対策してもらっているが、粉塵と臭いはきつい。別の場所に移していただくことを検討してほしい。

該当のプラスチック加工場は廃棄物処理の知事許可も取得し処理を行っていますので、町が介入することはできません。一定のルールに基づいて営業をされており、問題発生に即して話し合いをしていくしかないと考えています。

鳥取県国営自動車道は今年の5月に供用開始となり、宮津までの区間は無料になるとのことだったが、京都府道路公社によると平成28年3月に供用開始する予定です。また、野田川から宮津大橋立インターチェンジの区間は無料になると聞いています。

各地域の主要道路の改修はこのように考えているのか。

主要道路の整備は、京都府と十分調整を行い、改良促進を図りたいと考えています。

子どもが自転車道をよく利用しているが、夜間は暗くて危険。街灯は設置しないのか。

京都府により、堂谷橋から野田川駅を越えて随分のあたりまでの約1キロメートルの区間にLED電球の街灯が設置されています。他の箇所についても要望していますが、設置されるのはもう少し先になると思います。

10年から20年後には地域によって高齢化や障害者の増加が顕著になってくる。社会福祉協議会の方で対応が検討できないか。

社会福祉協議会は、一人では公共交通を利用しづらい方限定で、福祉有償運送をされています。町内にはさまざまな利害関係があるため、無制限に福祉有償運送による運行をされることは協議が途切れてしまっていますが、障害者や高齢者が移動しやすい交通手段を模索していきたいと考えています。

町営バス「コミュニティバスひまわり」の運賃状況はこのようになっているのか。

1年間の実証運行期間では、月平均400人程度の実績があり、主に車が運送できないお年寄りに買い物などで利用していただきました。運行委託費用は年間約1000万円、国・京都府から補助金支援がありました。2年目は実証運行結果をもとめ、新たな利用者を開拓するため野田川駅や加悦谷高校への毎日便を設定し現在第3期実証運行中です。町営バスの運賃は、各地区2名の委員により運賃協議会を組織し、「私たちのバス」として少しでも利便性が向上するよう意見交換を行っています。

加悦地域で旧町時代からインターネットに加えている割合。今回のFTH化において二重に負担を求められているように感じ止めている。FTH化について補助金はないのか。

加悦地域のFTH化に伴い、既存のインターネット加入者は、同軸ケーブルからLANケーブルに張り替える必要があります。インターネット配線工事については、岩瀬・野田川地域の方にも補助していただいております。

だけに補助することは考えていません。また、ADSLを誘致した際には、それぞれ個人負担をされていますので理解をお願いします。

有線テレビの工事費負担金によって市内工事に係る金額がまちまちである。町として工事代金の統一はしているのか。

工事代金の統一は、独占禁止法に抵触する恐れがあるためしていません。市内配線工事業者は事前に工事代金の内容について十分な説明を行うようお願いしています。市内配線工事業者への確認をいただいています。

6月にKYTの工事がマイクインターネットを借用している。当初は12月末までに申し込めば4月までの3か月間は無料で利用できると聞いていたが、つい先日つながった者としては、つながってすぐに課金されているので不公平に感じます。

町としてのスタートが遅くなったこと、市内配線工事業者の抱える件数が多かったことなどから工事の

遅れがあり、当初の4月課金を延長し6月に引き伸ばした経過があります。ご理解いただきますようお願いいたします。

防災行政無線放送の戸別受信機の廃棄は個人でできるのか。

不用になった戸別受信機は役場がまとめて処分しますので、お近くの役場片倉までご持参ください。最終処分場への搬入はできません。

防災行政無線とFM告知の使い分けはどうなっているのか。

防災行政無線は、人命に関わる緊急な情報（進捗防犯情報、有害鳥獣情報等）に限定して放送します。FM告知は、防災行政無線の放送内容に加え、行政情報等これまでの放送内容を放送します。

KYTの加入は、地区内加入、100%を区の目標としている。役場も協力してほしい。

町としても100%の加入を目標にしていますので、区の加入促進はありがたいです。今のところ、未加入世帯へはダイレクトメールを送付し、再度加入をお願いをする

予定です。

KYT-NEETでは、受信したメールを例えは携帯メールなどKYT以外のアドレスへ転送するサービスはしているのか。

KYT-NEET以外からの接続でKYT-NEETのメールアドレスへ転送サービスは行っていない。他の利用者からも要望を受けており、課題として研究中です。

KYTでIP電話サービスは行わないのか。

町独自の運営は考えていません。民間の参入を望めば導入に向けた協議をしたいと考えています。

岩瀬地域の下水道料金が4月から引き上げになったが、なぜ岩瀬だけ値上げになったのか。野田川、加悦地域の下水道事業が赤字になったので値上げすることになったのではないのか。

岩瀬地域の下水道会計と、野田川、加悦地域の下水道の会計は別会計のため、岩瀬地域の借金は関係していません。引き上げ要因としては、馬山浄水場の大型設備の借金が返さない状況になったこと

まだ、これらも耐用年数が来れば再整備をしていかなくてはならず、そのための投資が必要になるということです。合併以降、岩瀬の料金収入は他地区の減に伴い減っており、今回引き上げしても、合併時の水準で赤字が推移する程度の収入しか見込めな状況です。このままでも赤字経営のままでありますが、今回は最低限必要なだけの引き上げをさせていただきます。

下水道の本管造成率は9割と進捗しているが、水洗化率は、まだ、水洗化は3年以内の接合を100%にしたいが、水洗化を促すための何らかの施策が必要ではないか。

平成21年度まで本管造成率は90.2%ですが、接続は62.6%にとどまっています。なお、住宅改修助成制度で一番多いのが下水道接続工事であり、この制度が下水道接続に大きく役立てられている状況で、一掃することにつきましては引き続き啓発していきたいと思っています。

各区から毎年環境費を出しているが、「やる」という返事をもらえるのは約3割。採択されなかった原因について





いて区民に対し返事をする必要があるので、決定の詳細や判断基準を聞きたい。

各区からの要望は合計するといく件近くあり、次年度で実施できるのがそのうちの1割程度の状況です。現地を見て、直す必要があるがもう少し苦しいしてもらいたい場合もあります。なお、緊急性の高いものは、予算の修繕料で対応しています。中には10年前から要望されているものもありますが、町の収入の範囲内で事業を実施しなければならず、必要な事業と認識していても実施できないことをご理解願います。

明日の人材を育てる 教育文化のまちづくり

学校等の適正規模とあるが、どれくらいのスリットで進むのか。また、小学校の統廃合も考えていかなければならない中、各学校の耐震補強にお金をかけなければいっても仕方がないのではないかと。子どもたちをどのような環境で育てていくのがよいのかという視点で、教育

保健環境検討委員会で検討いただき、昨年、答申をいただきました。内容は、中学校、保育所、幼稚園は現状のまま、小学校については、1学級2クラスで1クラス25人から30人が適正な規模というものでした。何校にするのかといった具体的な数字はいただけていません。これを受け、教育委員会では一定の考え方をまとめ、町民の皆さんにご報告し、皆さんのご意見を聞きながら町の方針を出すことになり、また、まだ時間がかかると思っています。なお、今後どのように学校が配置されていくかは別として、学校施設は災害時の避難場所であり、また社会体育施設としても多くの方々に利用されていることから、計画的に耐震工事を行ってきたことをご理解ください。

小中学校、幼稚園など正体をテニスを設置されたが園からのものか。テニスイキは他の使い方がなかったのか。

国の補助金で設置しました。地テニスの切り替えて加え、テニスのサイズも授業で活用できるよう決められています。テニスは平成23年7月

までに更新が必要となっていましたので財政的には助かりましたが、今後の活用が本番だと考えています。

スポーツイベント開催事業の311万円の補助金の内訳を教えてください。

大江山登山マラソンに250万円、与謝野町駅伝競走大会の補助金が61万8千円です。

大江山グラウンドのフットボール用のナイター照明が壊れて、野球場のナイター照明が利用できないが、高齢の方も楽しんでおり、ボールが見にくい等の理由でけがにつながるのが怖い。

野球場のナイター照明は照度が高く、Aコートだけでなく、Bコートの方でも照明が点灯するため、Aコートしか点灯しないフットボール用と比べると暗く感じられるのではないのでしょうか。点検します。

国民文化祭に向けて、職員の排句鑑賞の実績は上がっているのか。

現在会員は23人で「さんすい会」と称し、第8水曜日に例会を行っています。

基本がやっとなかりかけてきたという状況です。

知らない人には声をかけられなくても返事をしないという状況だが、最近はいさづをしなさいと言われていた。散歩中に歩いていてもいさづするので教育がよくなったと感じる。

これまで見知らぬ人から声をかけられても返事をしないように指導してきました。しかし、今は知っている人にはいさづしようとして指導しています。

協働を進める まちづくり

町議会の一般質問等で庁舎統廃合の問題が取り上げられているが、現段階の方針を聞かせてほしい。

庁舎の統廃合については、新聞では前後が省かれ一部だけとられ、加悦庁舎に決めたいというような表現で報道されました。これは言葉足らずによるもので、皆さんご心配をおかけしたことについてはお詫言を申し上げます。

ます。合併当初は職員を1か所に収容する庁舎がなく、既存庁舎を有効活用することから岩瀬を本庁舎とし、加悦と野田川を分庁舎とする選択をしスタートしました。合併後、審議会や行政改革大綱等で検証が行われ、総合庁舎方式に向けて検討する必要がでてきましたので、ひとつの案を提案して議論を進めていくことになったのです。これは、決定事項でなく、今後ここかの庁舎に集まるとしても住民の皆さんにとって生活サービスが低下するということは一番困るわけで、それらをどうするかという問題点も出てくるため、いろいろ考慮しながら今後一定の方向性を定めたことにも出していかないと思っています。まずは議論を仕掛けないと解決もできないわけですので、今回一つの問題提起をさせていただきました。今後については結論ありきではなく、住民の皆さんと話をすることで総合庁舎に向けての議論を進めたいと思っています。

庁舎が統廃合されても地域振興の拠点は残すべき。

庁舎の統廃合に関連して、役場全体の組織を見直す必要があると考えています。県直しにあたり地域振興課を例外扱いにするつもりはありませんが、窓口サービスなどは低下しないように考慮する必要があると考えています。

職員の維持体、ラスパイルズ指数はどうか。また、町職員と臨時職員を合わせた現在の職員数を教えてください。

国家公務員を100とした町職員のラスパイルズ指数は89.7と府内で3番目に給与が低い状況です。職員数は4月1日現在で280人。臨時職員は、保育所等も含めて100人程度です。

住民自治活動支援事業と自治振興支援事業とはどのような内容のものか。

住民自治活動支援事業は、自治会の集会所の整備、備品の整備等について活動を支援するために自治振興補助金という制度によって補助金を交付するものです。自治振興支援事業は、町内各区の運営のため文書配布の委託料や自治会活動や運動会などでのけがをされ

た場合の保険料の半額を補助することにより支援するものです。

野田川、加悦地域は町民のコミュニケーションがとれる運動会を実施しているところもあるが、岩瀬地域は合併後行っていない。野田川地域で行っている場合の予算はどのくらいなのか。運動会に町からの補助はないのか。

自治会単位で区民運動会を行っており、経費は寄付を集めたり区費で賄っていると聞いています。町からの補助はありません。

会館の老朽化が進み、修繕の必要があるが、事業費20万円以上であれば自治振興補助金の対象となります。予算の関係もありますが企画財政課にご相談ください。

年寄いた親は地元で、子孫が都市部で生活する人が多く、そのうち親も都市部へ行く。そんな中でどのように公民館活動をしていくのか。

例えば、岩瀬では「サガート1編や」という区民のための自主活動団体があり、公民館で会合されたり、活動の拠点として利用されています。

す。また、災害時の要援護体制なども考えられているようです。地区にあった使い方をしていたければと思います。

職員は住民からの要望が強いことを認識すべき。

日頃から職員には全体の奉仕者としての責務を自覚するよう指導しています。職員の至らない点については、どんなに指摘いただき、町民の皆さんとともに、明るくより良いまちづくりを目指します。

町政懇談会での意見アンケートは知る機会はないか。

を公の場で知る機会はないが、今回の質疑の資料に掲載するホームページに掲載するほか、各庁舎に配布し閲覧できるようにします。

与謝野町として4年が過ぎたが町の姿が変えられない。

町の目指すべき方向性を示した「第1次与謝野町総合計画」に沿いながら、今回の町政懇談会の資料として配布しました「今後取り組むべき重点課題」を算定的に推進し、住民が主人公のまちにしていきたいと考えています。

町政懇談会のすべての内容は 各庁舎、ホームページで閲覧できます

会場での質問にお答えできなかったものや、アンケートへの回答など、すべての内容を「町政懇談会のまとめ」として取りまとめ、各庁舎に設置しています。また、町ホームページにも掲載していますのでご覧ください。☎ 企画財政課 46-3084

地区	開催日	人数
弓木区	6/9	38人
石山区	7/6	42人
加悦区	7/12	17人
加悦区	7/13	24人
加悦区	7/14	44人
加悦区	7/20	27人
加悦区	7/21	22人
加悦区	7/22	40人
加悦区	7/23	33人
加悦区	7/26	42人
加悦区	7/28	39人
加悦区	7/30	13人



ゴールを目指してスタート／数多く見られた女性ランナー／サインをする早狩実紀さん／中西重樹さん家族による選手宣誓／暑さのあまり水をあびる選手／山々を背に競走コースを駆ける(右上から時計回り)

過去最多794人のランナーが
秋の大江山、与謝野路を駆け抜ける!!

3000mの雄鷹目本記録
保持者の早稲葉にぞんざう
ストラナナーに迎え「第
5回までの大江山登山コン
ソ大会」が9月19日、大
江山運動公園ぐらうンドを
スタート・ゴールに開催さ
れ、大江山を縦走する23・
5km、ちりめん街道を走る
10km、会場周辺を周回する
3・5kmの各コースに、通
去最多となる794人のス
トラナーが出動しました。
残雪の日差しが残る中、
ストラナーは各コースご
とに、縦走コースでは、
ランナーは激しい山道に足
を取られながらも、沿道の
声援を背に駆け、ゴールを
目指しました。

大会結果（各部門1位のみ・敬称略）

1部 (23.5cm/男子 39歳以下)	原
2部 (23.5cm/男子 40歳以上)	藤下
3部 (23.5cm/女子 39歳以下)	吉住
4部 (23.5cm/女子 40歳以上)	今井
5部 (10.0cm/男子 39歳以下)	大石
6部 (10.0cm/男子 40歳以上)	白藤
7部 (10.0cm/女子 39歳以下)	笠井
8部 (10.0cm/女子 40歳以上)	由田

●まゆまるローラーキャンペーン●

まゆまろが北都市町で国文祭をPR

来年の秋に府内全域で開催される「第26回国民文化祭・京都2011」のPR隊長まゆまろが8月27日、与謝野町をはじめ、宮津市、伊根町を訪問しました。

伊根町役場と伊根保育園を訪れた後、キャンペンカーに乗って与謝野町役場に到着したまゆまろ。太田貴美町長に記念品の「三まゆまろ」を贈り、役場を訪れる人たちや職員に開催をアピールしました。

与謝野町を後にしたまゆまろは、KTR天橋立駅に到着。天橋立金松公園イメージキャラクターのかさぽうとともにKTR乗降客にグッズを配布するなどして、国民文化祭と朝光の共同キャンペーンを展開しました。



太田貴美町長らと記念撮影するまゆまこ

会場の一角に設けられた丹後産食材や料理



●丹後バリアリ交流会 50 対 50

丹後と都会との架け橋をめざして

大阪や京都を拠点に丹後地域の広報宣伝活動を展開する「丹後バリバリ応援隊」とNPO法人「丹後の自然を守る会」による地域活性化イベント、「丹後バリバリ交流会」が9月18日、かや山の家で行われました。

イベントは、京阪神などから訪れた50人と地元丹後の50人が自己紹介や意見交換、丹後地域の紹介などを行う「パブリックビューマン交流会」で幕が閉じました。続いて、会場に所狭しと並べられた京の豆「こぎざばら」寿司、地元産野菜、地酒など丹後の食材や特産品に舌鼓を打ちながらの交流会が行われ、参加者は丹後地域の活性化について熱く語り合っていました。

●京都府公民館大会・優良職員表彰

小長谷明永さんに公民館優良職員表彰

「教育力を高め、絆を強める地域の公民館活動をめざして」をテーマに、「第53回京都府公民館大会」が8月27日、知遊館で開催され、府内の公民館主事などが参加しました。

大会の最初に行われた開会行事では、世代間交流事業や、防災活動に積極的に取り組む上山地区公民館主宰の最年少メンバー、合永さん（左写真）が、平成22年度京都府公民館連絡協議会優良職員表彰を代表受賞しました。



その後、版画家の幻一さんの講演や、分科会において各公民館の実践発表が行われました。



幻一さんの講演「顔と心」から、喜怒哀楽、

私たちの
生活環境
をお届けします



●知事と和い、和いミーティング
地場産業と観光をテーマに
住民6人と知事が意見交換

●知事と和い、和いミーティング

山田啓二やまだ けいじ京都府知事と府民が意見交換を行
う「知事と和いあいミーティング」が9月6
日、旧尾藤家住宅で開催されました。

と鶴野町の知開催となった今回のミーティングのテーマは「鶴野町・ちりめん街道から未来へ!」。ちりめん街道を守り育てる会会長の藤田史朗さん(加悦)、商工会会長の安田光孝さん(三河内)、観光協会会長の青木順一さん(瀧五)、丹後織物工業組合理事長の渡邊正樹さん(岩屋)、婦人会顧問の小松健二さん(三河内)、株式会社さきのちの代表取締役(石川)の6人と知事と町会に置かれたテーブルを囲み、和やかな雰囲気の中、ミーティングは始まりました。

6人はそれぞれの立場から、観光資源を活かしたまちづくりや丹後ちりめん産業や着物文化への思い、ちりめん街道における取り組みなどを知事に熱心に語りかけました。

知事は「婦人会が取り組まれている、自分たちで染めた着物を子どもたちに着せるとい



知事を囲む6人の参加者。和やかに進められました。



知事と6人の参加者の話に熱心に耳を傾ける地域の皆さん



太田貴美町長から新百歳の祝い品を受け取る
加畑貞一郎さん（四辻）

●与麴野町敬老会

4,373人の長寿をお祝いしました

「と謝野町敬老会」が、9月22日は岩滝ふれあいセンター、23日は加悦小学校体育館、24日は野田川体育館で開催され、と謝野町在住の高齢者の健康と長寿を祝いました。今年の対象者は、4,373人（男1,622人・女2,751人）で、3会場合わせて800人を超える方が参加しました。式典では、町長や来賓からお祝いの言葉が述べられた後、米寿の記念品などが対象者に贈られました。その後、お祝いに駆けつけた保育園児や小学生らのステーション・ジョーギング発表され、参加者がわいわい笑って目を細めていました。また、マジックショーや歌謡ショーなども行われ、楽しいひとときを過ごしていました。

唾液は、1日に1.0から1.5リットル分泌されるといわれており、常に口内を潤し、清潔に保つはたらきをしています。

唾液のはたらき

- 感染を防ぐラクトフェリンや抗菌作用があるリゾチムを含む
- 唾液中のスルスルが歯の表面や口内、食道の粘膜を潤し保護する
- 歯の表面を守り修復する
- 飲食物などで酸性に傾いた口の中を中和させる
- 食べ物の消化を助ける
- 口の中や歯の表面の糖分や菌を洗い流しきれいにする

知っていますか？ 唾液の重要な役割

今月号では、唾液に注目し、口の渇きの予防法、改善法をご紹介します。

口の渇きを防ぐには 日常の口腔ケアが大切

口の渇きは、加齢のほか、ストレスや喫煙、飲酒、歯周病の減少も原因の一つとして挙げられます。

また、重症口呼吸をしている人や開口傾向の人も口が渇くことが多く、肺炎（肺炎菌など）や薬の副作用（血圧降下剤など）が原因となることもあります。

次のことに注意して口の渇きを防ぎましょう。

生活上のアドバイス

- よく噛むことを習慣づける
- 水分補給を心がける
- ストレスを受けない
- 刺激の強い食物は避ける
- 禁煙する
- 酒は適量にする
- お口の体操をする
- 唾液腺マッサージをする

「お口と栄養の教室」で 気になる症状を改善

「歯磨きの時に舌の先がしみて痛かったのがだにならなくなった」「口の乾燥予防に梅干しの種を口に含んでいたが、含まなくても口の渇きが気にならなくなった」

「薬を飲む時に喉につかえることが少なくなった」「食べ物をむせずに食べられるようになった」

これらは「お口と栄養の教室」に参加した人たちの声です。

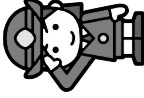
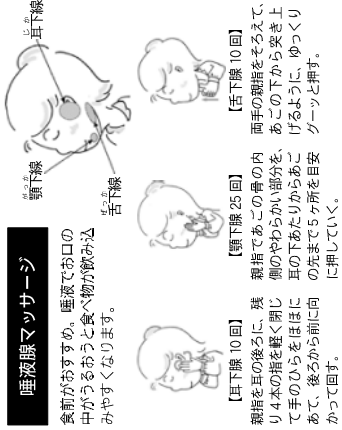
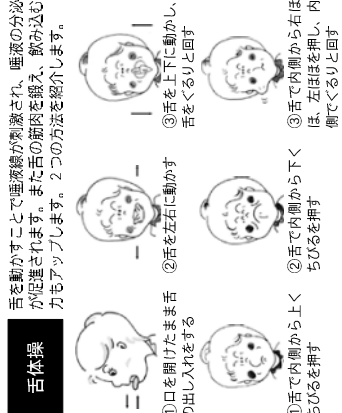
教室では、口の体操や唾液腺マッサージをすることで、口が渇く症状が改善し、驚きと喜びを感じ、「もっと早く知りたかった」と話す参加者の姿が多数見られました。

口の渇きをチェック！

- ✓ 口が渇く
 - ✓ 口臭が気になる
 - ✓ 口内がいつまでもネバネバしている
 - ✓ 食事中、水分が手放せない
 - ✓ いずれかが該当する人は口の渇きが疑われます。手体操や唾液腺マッサージを試してみてください。
- また、「ふれあい元気づくりの日」に、歯科衛生士による「口腔ケア」の話をしますので、ぜひご参加ください。

ふれあい元気づくりの日

- 10月25日（月）午前10時～
加賀保健センター（2F 公民館）
- 11月8日（月）午前10時～
四辻地区公民館
- 11月15日（月）午前10時～
岩瀬保健センター



ひまわりふれ愛隊 消火栓・消火器講習会を受講！

ひまわりふれ愛隊は7月4日、宮津消防署加賀分署で消火栓と消火器の取り扱いや初期消火の効果的な方法について学ぶ「消火栓・消火器講習会」を受講しました。消火栓のホースを使っての放水体験では、水圧の強さや振動の激しさに驚きました。ひまわりふれ愛隊が火災現場において直接取り扱うことはありますが、地域住民の一人として知っておくことは大切なことだと感じました。今回は私たちが講習会で学んだことの一部をご紹介します。



写真で覚える!! 消火器の安全な使用方法

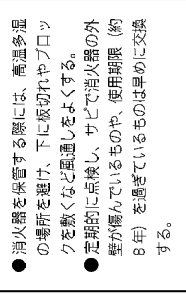
- ① 大声で知らせ、消火器を通が
- ② 消火器の安全栓を抜く
- ③ ホースをばずし火元に向ける



④ レバーを強く握る

⑤ 放射する

保管上の注意

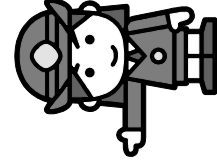


- 消火器を保管する際には、高温多湿の場所を避け、下に紙切れやプロップを敷くなど漏通しをよくする。
- 定期的に点検し、サビで消火器の外壁が傷んでいるものや、使用期限（約8年）を過ぎていたものは早めに変更する。

出張消火器・消火栓講習会を行います

消火器の取り扱い扱いは1～2分間のことですが、あわてず冷静に対処できるよう、日頃から訓練をして慣れておくことがとても大切です。

ひまわりふれ愛隊では、まだまだ勉強中ですが、住民の皆さんを対象に「出張消火器・消火栓講習会」を行います。地域や学校、職場単位で、私たちと一緒に楽しく体験してみませんか？ お問い合わせは、総務課消防安全係 ☎ 46-3004 までお願いします。



平成22年度全国統一防火標語「消したかな あなたを守る 合言葉」

加悦奥地区は「加悦の奥座敷」とも言われ、山林に囲まれた自然豊かな地域です。加悦奥地区公民館は、1番組から11番組までの279世帯929人の区民の皆さんに、ふれあい・出会い・楽しみの活動拠点としてご利用いただいています。公民館活動は、区をはじめ、体育部、文化部、愛護会、各サークル（オールドボーイ75、レディーズ21、ふれあいサロンなど）の協力によって、運営されています。



道なき道を進み山頂を目指した東城坊登山

■**地域の山「東城坊」に登る**
文化部では、これまでに地域の山である標高526mの権現山の登山や有熊林道のハイキングを行ってきました。今年、山頂付近に加悦奥地区と岩屋地区、但東町との境界がある東城坊の山頂を目指す登山を5月30日に実施しました。

東城坊は区民に親しまれた山で加悦奥地区の機関紙名でもあり、旧加悦町の加悦町歌にも「東城坊に日流み」と歌われています。実施までには、文化部長をはじめ役員が何度も下見を行い、当日は24名が参加しました。山頂を目指す道のりは厳しく、時にはロープを使って登ったり下ったりというもので、険しい山道を前に残念

時の贈り物 [第50回 間かざる地蔵と右坂峠]

まちの文化財



間かざる地蔵
●種別/有形文化財（工芸品）
●場所/与謝野町宇岩滝
●指定状況/未指定

阿蘇海に面して密集する大宮町、岩滝、森本をつないだ旧道は、右坂（または鬼坂）の峠道と呼ばれ、丹後半島の内陸部と日本海航路を結ぶ交通の要衝として古くから利用されてきました。今もなお、道路の多くは残され、往時の様子を忍びさせる痕跡を随所に見ることが出来ます。室町時代の絵師、雪舟の描いた『天橋立図』には、岩滝の集落から背後へ続く険しい山道が描かれています。これは現在の大内峠または右坂峠へ続く道のいずれかと考えられます。

現在、右坂峠頂上付近には板列展望台が建てられ、そこから岩滝の街並みと阿蘇海、さらにその奥に「宇都の天橋立」を見下ろす景観が広がります。丹後半島内陸の集落から峠道を越えて岩滝を訪れた往時の人々もこのような景色を目の当たりにしたのでしょうか。

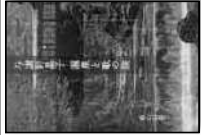
（与謝野町教育委員会）

図書館へ行こう！

●今月のオススめの1冊

本を片手に旅へ

おでかけに最適な秋にぴったりの「旅」をテーマにした本をご紹介します。本を参考にしていただければ、秋の夜長に読書で旅行気分には浸っていただけます。



『与謝野晶子温泉と歌の旅』
杉山美子/小学館

晶子は「病のごとく旅を愛していらっしやる」と弟子から言われるほど、歌を詠むために美しい景色を求め、全国各地を旅しました。晶子が訪ねた温泉をとりまく景観の魅力を案内しながらその足跡を辿り、一人の女性としての生き方に迫ります。



『トウルピンとメルクリンの不思議な旅』
カルフ・スタルク/小峰書店

二人きりで暮らす年の離れた兄弟は、いつも寝る前に砂漠の探検の本を読んでいた。そんなある日、突然の夜中に目覚め、砂漠へ向かったはずの父を探しに旅に出ることにします。彼らはいったどこへたどり着くのでしょうか。

『どこに行ってもいい 秘境をめぐる景色』
ピエ・ブックス

「世界名景紀行」というシリーズで世界中の風景を集めた写真集の一冊。たどり着くまで最寄り空港からさらに2・3日かかると思われるモリタリアの「世界の眼」の雄大な写真をはじめ、世界最大落差の滝や断崖絶壁といった「秘境」を紹介しています。



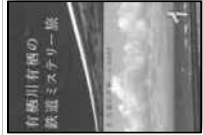
『いま生きているという冒険』
石川直樹/理論社

初めての一人旅は中学2年、高校2年の時には一人でインドへ。その後北極・南極間を人力で踏破し、最年少で世界7大陸最高峰登山を達成。読書を通じて、そこに書かれた見知らぬ場所を見たいと旅を始めた著者が旅をすることで得たものとは。



『有栖川有栖の鉄道ミステリー』
有栖川有栖 (著) 早稲田秀 (写真) /山と渓谷社

数多くのミステリーを世に送り出している著者は、鉄道旅行好きの、自称「乗り手」。さまざまな鉄道の旅を綴るとともに、鉄道好きのミステリー作家ならではのおもしろい鉄道ミステリーが紹介されています。次の旅の本選びの参考になるのでは。



『こんとあき』
林明子/福音館書店

あきが生まれたときからずっといっしょのこん。長い時間が経つうちに、こんの胸がほころび、二人はこんの腕を治してもらうために出かけることに。初めての汽車の旅をするあきと、それを見守るこん。二人の姿が愛らしくいきいきと描かれています。



今月の
新図書

【一般書】 ●『人生が驚くほど変わる電脳脳のススメ』茂木健一郎/主婦と生活社 ●『いざ志願！おひとりさま自衛隊』岡田真理/文藝春秋 ●『見てわかる！栄養の図解事典』中村丁次/PHP研究所 ●『これで解決！大人のテーマルマナー』主婦の友社 (編) /主婦の友社 ●『科学者としての宮沢賢治』斎藤文一/平凡社 ●『浅草のおんな』伊集院静/文藝春秋 ●『アダルト・エデュケーション』村山佳/幻冬舎 ●『勝手にふるえてる』絹矢りさ/文藝春秋 ●『隠れコメディ映画日記』ハーベイ・カーリング/みすず書房 ●『大さくらへ続書』半田利弘/PHP研究所 ●『ひつぎ虫観察便利帳』岩槻秀明/いかだ社 ●『電車100点』フォトエージェンシー/講談社 ●『世界のart図鑑』レベッカ・ライオンズ/ポプラ社 ●『語源でふやそう英単語』小池直己/岩波書店 ●『すいはんきのあきやすみ』村上隆一/PHP研究所 ●『雲のはしり』剱屋アリエ/岩崎書店 ●『アソビのからえるあきまつり』間所ひさこ/PHP研究所 ●『おおきな犬』シェール・シルヴァスティン/あすなろ書房

山 図書館おはなし会
＜本 館＞ 11月6日(土) 10時30分～15時～
＜加 悦＞ 11月13日(土) 15時～
＜野田川＞ 10月16日(土) 15時～
.....
雑誌リサイクルのお知らせ
平成18年9月から平成19年8月末までに購読した雑誌48種類約700冊を1人3冊まで先着順でお譲りします。予約等はできません。雑誌タイトルは館内掲示ボード・図書館ホームページでご確認ください。
＜本 館＞ 10月29日(金) ～11月4日(木)
＜加 悦＞ 11月6日(土) ～11日(木)
＜野田川＞ 11月13日(土) ～18日(木)

●問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087

●開館時間/午前 10時～午後6時 ●休館日/毎週月曜 (本館・加悦分室)、毎月最終木曜 (共通)

10/17-11/15

番組ガイド

制作番組の予定をお知らせします。当日の番組表は、有線テレビホームページでもご覧いただけます。

中学校文化祭



文化の秋真っ只中の今月は、加悦中学校と江陽中学校の「文化祭」の様相を放送します。生徒たちの見事な合唱をぜひお聴きください。また、恒例の与謝野町駅伝、天橋立小学生駅伝も放送します。こちらもお楽しみに。

今日のイチオシ

10/17日	20:00	制作番組総集編 (10/14放送分は除く)
18日	20:00	知っとコーナー・ふるさと情報 (ふるさと瓦版 総集編)
19日	20:00	知遊館 ミュージックフェスティバル 2010
20日	20:00	第3回与謝野町駅伝競走大会
21日	20:00	加悦中学校文化祭
22日	20:00	天橋立小学生駅伝競走大会
23日	20:00	加悦中学校文化祭 (再放送)
24日	20:00	制作番組総集編 (10/21放送分は除く)
25日	20:00	知っとコーナー・ふるさと情報 (ふるさと瓦版 総集編)
26日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (提出議案要綱説明) 【録画】
27日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (一般質問) 【録画】
28日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (一般質問) 【録画】
29日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (一般質問) 【録画】
30日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (一般質問) 【録画】
31日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (条例・補正予算) 【録画】
7日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (追加議案審議) 【録画】
8日	20:00	知っとコーナー・ふるさと情報 (ふるさと瓦版 総集編)
9日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (決算審議) 【録画】
10日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (決算審議) 【録画】
11日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (決算審議) 【録画】
12日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (決算審議) 【録画】
13日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (決算審議) 【録画】
14日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (決算審議) 【録画】
15日	20:00	与謝野町議会 9月定例会 (決算審議) 【録画】

再放送予定

- 通常放送は、午後8時から。
- 再放送は、午後9時・午後10時・翌日の午前9時・午後0時15分・午後3時から5時の計5回を基本としています。

ダビングサービス

- 放送した番組を1番組当たり300円でダビングします。各庁舎の窓口で受け付けていますのでご利用ください。(DVD等のメディアは各自で準備し持参してください)



撮影技術を学んで、放送してみませんか？



ビデオカメラ撮影時のポイントや撮影技術など、プロの技術を学んでみませんか？プロの講師が分かりやすく撮影時の構図や上手な撮影方法、実際の撮影などを通じてアドバイスします。初心者の方もお気軽にご参加ください。

与謝野町有線テレビ(KY)では、町民の皆さんからの楽しいビデオ映像を募集しています。

講習会で撮影技術を学び、地域の話題などをどんな

どんな撮影して、有線テレビやホームページで放送しましょう。

■日時 11月21日(日) 午前10時〜午後4時

■場所 元気館および周辺

■持ち物 当日はご家庭のビデオカメラを持参してください。貸出用のビデオカメラ(3台)もありますので、必要な方は申し出てください。

■定員 10人程度(先着順)

■申込方法 参加を希望される方は、11月18日(木)までに有線テレビ(☎43-2378)へ電話でお申し込みください。

プロの技術を
あなたのものに!!
参加費は無料です

ビデオカメラ撮影技術研修会

11/21開催決定！プロの講師がアドバイス！

大切な
お知らせ

音声告知端末機・戸別受信機は廃棄処分不可！
不用な方は役場各庁舎で回収しています。

■加悦地域の方
すでに加悦地域で有線テレビに加入いただいている世帯には、音声告知端末機を設置していますが、F・T・H化工事に伴い、機體加入世帯には新たに「F・M」音声告知端末機を設置します。

音声告知端末機は町民与機器ですので、町で一括処分します。不用な方は加悦

町までご返却ください。

■岩瀬・野田川地域の方
防災行政無線用「戸別受信機」をお持ちの方で、廃棄処分を希望される場合は、本町または野田川庁舎までご持参ください。

※音声告知端末機・戸別受信機は、家庭ごみとして廃棄処分することができませんのでご注意ください。



加悦地域の加入世帯に設置されている音声告知端末機

10/1
から

有線テレビ利用料金の減免基準を改正！
該当すると思われる方は申請してください。

有線テレビ利用料の減免基準を10月1日から改正しましたので、該当すると思われる世帯の方は役場各庁舎の窓口にて「有線テレビ減免申請書」と「必要書類」を提出していただき、申請書は、各庁舎の窓口へ提出し、審査により該当しない場合もありますので、ご了承ください。

【10月1日からの改正内容】

- 新設
知的障害者(Ａ判定)が世帯主の世帯、精神障害者(1級重篤保持者)が世帯主の世帯
⇒有線テレビ利用料が半額免除になります。
- 一部改正
「身体障害者(1・2級)」「視覚・聴覚障害者」が世帯主の世帯(半額免除)
⇒これまで世帯主かつ生計中心者の規定がありました。今「生計中心者」の規定をなくしました。
- その他
このほか有線テレビ利用料の減免基準には、「生活保護世帯」「全額免除」「母子父子世帯」「半額免除」「75歳以上で構成される世帯」「半額免除」の減免制度があります。該当すると思われる世帯は減免申請書・必要書類を提出してください。

【予約方法】いずれも企画財政課（☎46-3084）まで。

☎ 03-5391-2285

PR隊長まゆまる

Vol. 3

